第22回少年の主張発表会

「村民の青少年健全育成に対する関心を高め、理解を深めてもらおう」と毎年行われている『少年の主張発表会』が先月9日、公民館講堂で開催されました。迎えて22回目となる今年の発表会。昨年に引き続きジュニア合唱団の発表も披露される中、小学生4名、中学生6名は会場に詰めかけた家族などの前で、力強く発表しました。

【小学生の部】

岩室小学校
6年
阿部　望さん

『電気の節約できれいな星を』

私たちは電気なしでは生活できない。しかし、その電気をおこすにはさまざまなエネルギーが大量に使われ、その結果、環境がよごされてしまい悪い影響が起こる。家でも学校でも、自分たちでできるところから節電を心がけ、環境の汚れをできるだけ少なくしたい。そして、空気の澄んだ夜空に輝くきれいな星をながめたい。

和納小学校
6年
三上　誉弘さん

『私と野球』

私たち「和納ピクトリーズ」には、どうしてもかなえたい目標がある。これまで何度も何度も戦ってきたけれど、どうしても勝てない〝あのチーム〟を倒すことだ。そのために毎月のトレーニング、休みの日の練習を頑張ってきた。初めはただ「野球がうまくなりたい」「試合に勝ちたい」と思っていただけだけど、多くのことを野球から学んだ気がする。そしてまた〝あのチーム〟に挑む。

岩室小学校
6年
小池　俊輔さん

『ペットを飼っている人のマナーについて』

みなさんはペットを飼っていますか?僕は犬を飼っています。最近、気になっていることがあります。それは犬のフンの後しまつです。僕はちゃんと犬のフンを持ち帰っているけど、家の前によく犬のフンが落ちています。そのことがあってから、他の散歩している人を気にして見ています。すると犬のフンを持ち帰る人が少ないことに気付きました。ペットを飼っている人は、もう一度マナーについて考え直してほしいと思います。

和納小学校
6年
北村　幸恵さん

『しの笛から学んだこと』

私は、昨年から和納地区に伝わっている「しの笛」の練習を始めた。友達と一緒に夜間、地域の方から教えていただいているが、なかなかうまくふけずにあきらめかけていた。そんな時、指導者の方の「絶対ふけるようになるから」という言葉に後押しされて、和納の伝統を守っていこうと決意を固めた。将来、新潟市と合併することになっても、この「しの笛」の調べはなくしたくないと思う。

【中学生の部】

岩室中学校
1年
田中　直美さん

『今、私達が考えなければならないこと』

今、世界ではさまざまな所で戦争が行われています。その1つの戦争のせいで、多くの犠牲者がでたり、親を亡くしてしまう子どもがでたりと、とても悲しい毎日が続いている国もあります。そのような国と反対に私達の暮らしはどうでしょう。とても幸せではありませんか。これから私が考え直してもらいたいのは、自分が不幸だと思っていること。私は、将来みなさんが戦争について、じっくりと考えてくれる日がくるとうれしいと思います。

岩室中学校
1年
本間　大地さん

『草木が消えて』

僕は昔、ある野原で遊ぶのが大好きでした。しかしある日、その野原が家が建つという理由でつぶされてしまいました。それから4年後、6年生になった僕は総合的な学習の時間に「環境」について調べることになりました。そこで意外な事実を知った僕は、あらためて木や森を守っていこうと実感しました。

岩室中学校
2年
田中那央子さん

『笑顔のキャッチボール』

みなさんは笑顔を意識したことが一度はあるでしょう。実はそれが人を知らないうちに幸せにしたり、逆に幸せにされたりの「笑顔のキャッチボール」だったらすごくうれしいと思いませんか?あなたの笑顔が、本当は今までの経験がつみかさなってできている!と気付いたら、もっと何気ない笑顔が大切に感じてもらえると思います。

岩室中学校
2年
川崎　優季さん

『伝えたい言葉』

私の祖父は1年前に亡くなり、そのことがきっかけで祖父に対する気持ちが変わりました。祖父が入院してから、嫌いという気持ちが変わっていったことを作文にしました。

岩室中学校
3年
長谷川知佳さん

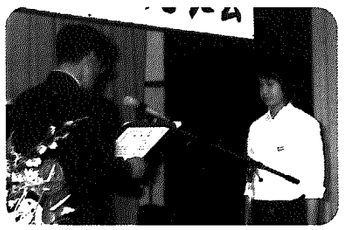
『一つの言葉の大切さ』

練習試合に行ったとき、掲示板に貼ってある言葉が目についた。「人は一つの言葉で楽しくなり、一つの言葉で傷つき、一つの言葉で仲直りする」であった。自分の経験からも、何げなく言った言葉で友人を傷つけたり、家族とけんかしたりした。その時に相手を思いやる言葉をかけることで、相手も幸せな気分になるはずである。これからは、相手を思いやりそして心がこもっている言葉を使っていけたらいいと思っている。

岩室中学校
3年
草野　文恵さん

『世界平和』

現在イラク戦争はおわりました。しかし、そのあとに出てくる映像は恐ろしいものでした。子どもたちが被害にあい、父親が「子どもをかえしてくれ」と訴えている姿。アメリカは正義のために行なった戦争であると言いました。そんな戦争があるのでしょうか。剣・銃・核と、だんだんと戦争のための武器は大きくなってきました。人間は武器にたいして無力です。これから無力である人間の一人として、世界が武器をすて、殺し合うことをやめるために、戦争は絶対に許せないものだという気持ちを持ち続けたいと思います。



▲ボランティア局の代表として表彰状を受け取る本間好美さん。

《岩室中学校ボランティア局に善行表彰》

少年の主張発表会に先立ち、岩室中学校ボランティア局に、「アルミ缶の収集活動や清掃活動などのボランティア活動を行い、その収益で岩室温泉病院へ車いすや歩行器を寄贈した」という善行に対して、青少年育成村民会議から表彰状が贈られました。

▲拾い集められたゴミの山

間瀬の海岸をキレイにしよう!!

先月8日、岩室中学校ボランティア局による間瀬海岸清掃が行なわれました。当日はうだるような暑さの中、参加した200名の生徒たちは2班にわかれ、それぞれセンター白岩周辺と田ノ浦海水浴場付近を中心にビニールや空き缶を拾い集め、合わせて約2tのゴミを回収しました。

▲堂々と主張する発表者　▲ジュニア合唱団の発表